

重点改革項目Ⅲ 持続可能な財政運営の確立

大項目	地方公営企業などの経営改革				No.	67	
中項目	水道事業の経営改革の取組強化				担当課	水道局計画整備課	
具体的な改革項目	最適事業規模に向けた浄配水施設の統廃合						
現状と課題 (これまでの取組)	水道事業中長期経営計画の基本施策に施設規模の適正化を掲げ、必要な配水管整備などを行いながら確実に計画を実施してきている。(平成19年度亀田・長戸呂浄水場廃止、平成21年度小須戸浄水場廃止、平成23年度岩室浄水場廃止、平成24年度月潟浄水場廃止予定)						
改革実施概要	改革の目的、考えられる効果	・市町村合併により広域化した後の事業規模の適正化を図るとともに、広域化によるメリットを活かした効率的な配水システムを再構築し、併せて浄配水施設の運転管理費、維持管理費等を節減する。					
	取組の内容	・広域系統連絡管整備事業及び浄水場統廃合に係る基幹浄水場等整備事業等を引き続き実施する。西川浄水場及び中之口・潟東浄水場の平成26年度までの廃止を予定し、事業運営上、最適と考えられる施設規模へのダウンサイジングを図る。					
	取組工程 (具体的な内容)	現状	平成25年度		平成26年度		最終目標/ 27年度以降
			計画	実績	計画	実績	
浄水場数	8	8	8	6	6	・効率的な配水システムにより、浄配水施設の運転管理費、維持管理費等を節減する	
計画一日最大給水量	448,700	448,700	448,700	440,000	440,000		
指標							

進捗管理	(各年度10月、年度終了後に実施)		平成25年度		平成26年度	
	取組の状況	上半期 (4～9月)	・広域系統連絡管整備 予定の80%を発注済 ・基幹浄水場施設整備 予定の70%を施工済	予定通り 進捗	・広域系統連絡管整備 予定の95%が竣工済	予定通り 進捗
		下半期 (10～3月)	・広域系統連絡管整備 予定の87%が竣工済 ・基幹浄水場施設整備 完了	予定通り 進捗	・広域系統連絡管整備 完了 ・2浄水場を廃止	予定通り 進捗

年度評価	(年度終了後に実施)		平成25年度		平成26年度	
	取組工程、指標に対する評価		計画どおり広域系統連絡管の整備を進めることができた。統廃合に係る基幹浄水場の整備を完了した。	B	計画どおり広域系統連絡管の整備を進め、2浄水場を廃止した。	B
		課題、今後の方針、改善事項など		引き続き広域系統連絡管の整備を行い、平成26年度末には統廃合を完了する。		完了

計画期間の評価	(平成26年度上半期終了後に実施、下半期終了後に最終確定)		総合評価			平成27年度以降
	取組工程、指標に対する評価		広域合併後に進めてきた浄配水場の統廃合計画が完了した。13浄水場から6浄水場へのダウンサイジングにより、今後の施設更新と水運用を効率的に行うことが可能となった。			B
		課題、今後の方針、改善事項など		人口減少等による給水量の減少傾向が長期的に継続する見通しである。このため、施設の更新・整備にあたっては水需要予測に基づく将来的な施設規模を適正に設定した上で、これに向けた整備を行う必要がある。		